

浄土宗コドモタイムズ

第46号

発行 浄土宗児童教化連盟

発行人 辻本 良明 〒857-0851 佐世保市稲荷町19番10号 善隣寺内 TEL 0956-33-3334 FAX 0956-33-3338



一言説法

「他人の失敗は見えやすいが、自分のあやまちは見えにくい」

人が失敗した時や間違ったりした時、笑ったり責めたりしたことはありませんか。他人の失敗はおもしろいかも知れません。でも失敗しない人なんかいませんよね。あなたも失敗したことがあるはずですし、それで恥ずかしい思いをしたこともあると思います。

お釈迦さまは

「他人のあやまちをただすことは、ちりを吹き飛ばすように（勢いよく）、しかし自分のあやまちは、（こそっと）隠してしまうものである」

とおっしゃっています。

だけれども自分の失敗を責められるのはいやなものです。自分がされたいやいなことはせずに、たとえ人が失敗しても、「だいじょうぶ、だいじょうぶ！」とあたたかく見守ってあげましょう。

# 質問箱

## 質問

仏さまの手足の指には「水かき」があると聞きました。なぜですか？

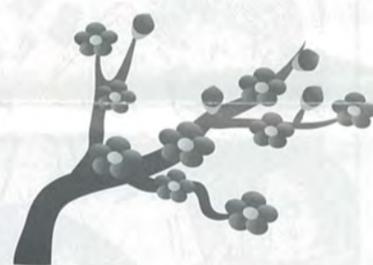
(小六 男子)

## 答え

仏さま（阿弥陀さまやお釈迦さまといった如来さま）には、普通の人間と違った特徴があります。そのうち三十二の大きな特徴を、如来の三十二相といえます。

その内の一つが、手足の指の間に水かきがある「まんもう相」（縵網相）です。すべての者をもらさず救いあげるためにあるものです。

他にも、からだの色が金色であるという金色（こんじき）相や、へんぺい足であるという足下安平立（そっかあんぺいりつ）相などがあります。今度よく観察してみてください。



## 質問

お仏壇とお墓、どちらが大事ですか。

(高一 女子 京都)

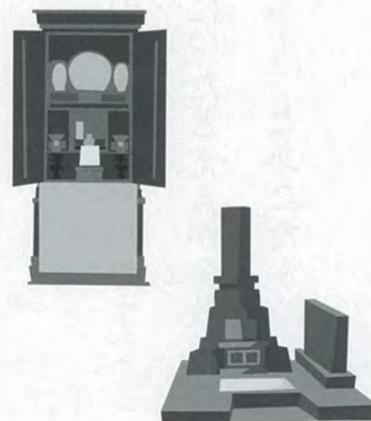
## 答え

どちらも大事ですよ。

お仏壇にはご本尊（浄土宗だったら阿弥陀仏）やご先祖のお位牌がまつられています。またお墓には亡くなられた方のお骨が納められています。お墓は単にお骨を納めた目印の石というわけではありません。

お墓は本来仏さまの塔（仏塔）です。それとともに仏さまのお弟子となった人のお骨を納めて、その名前を刻んだ墓塔でもあります。仏さまの塔であるので、開眼という作法をして墓石に魂を入れるのです。

ですからお仏壇とお墓はどちらが大事かといわれれば、どちらも仏さまをおまつりしていますので、両方大事ということですよ。



# 仏さまの 持ち物

## 「錫杖」

お地藏さんで知られる地藏菩薩の持っている物として錫杖があります。

錫杖とは、杖の頭の部分に金属の飾りのついたものをいいます。飾りは五輪の塔を形どり、その下に銚とよばれる金属の環があります。またその輪の中にいくつもの金属の環が入っていて、杖を振るとジャランと音が鳴ります。知恵の輪ではありませんよ。



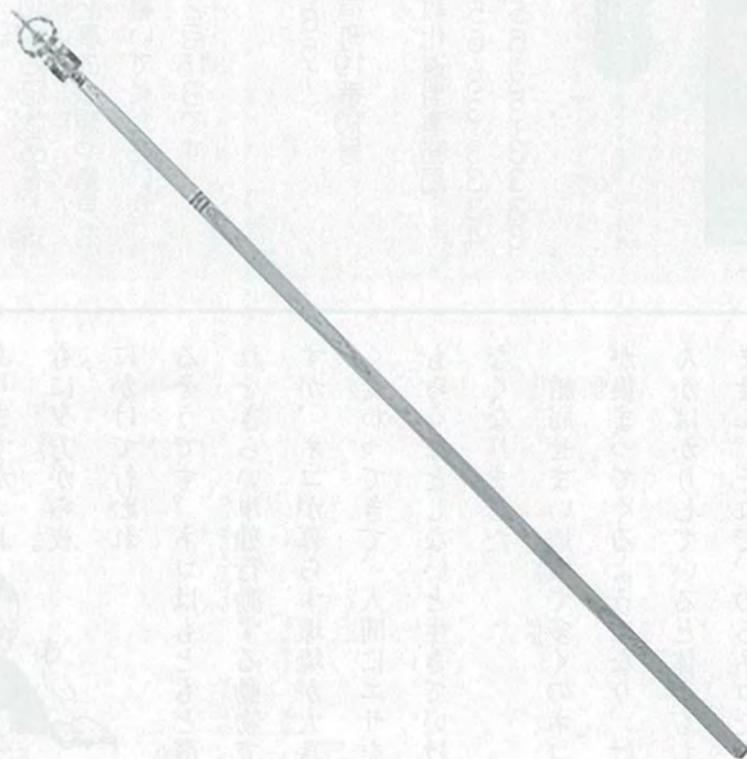
錫杖の大きさは長い物だと人の背ぐらいのものがあり、短いものだと30センチほどのサイズです。

錫杖はお釈迦さまのおられた時代にはすでにあり、お坊さんの持つ道具の一つです。歩きながらジャランジャランという音で、毒蛇や野獣などから身を守る役割があります。

また足元の虫たちを、あやまって踏んで傷つけたり殺したりしないようにするためでもあります。生き物を殺さないことは仏教の決まりです。

お地藏さんの持つ錫杖には、人々に善い心を起こさせ、すぐに救いに行きますよ、の意味があるといわれます。

錫杖を鳴らす音には、人の心を神妙にして気持ちを引きしめる効果があるのでしょうか。



これも仏教の言葉だよ!

# 念う



私たちは、毎日いろんなことを心に「おもつて」過ごし、様々な「おもい」を身に宿して歩んでいます。この「おもう」には状況によっていくつもの違う漢字が当てられます。

思う、想う、懐う、憶う、念う、と多くの「おもう」があります。

「思う」は、心の中で感じることで、「想う」になると、その「おもい」は想像の世界にまで広がっていきます。

「懐う」は、「懐」が懐かしいと読むように、過ぎ去った日々をおもふこと。

「憶う」は、人の心の奥にあるものを感じてみようとする事。

そして、「念う」は、念願するということに、「思う」心の、もつと奥深いところで「おもう」ことを意味しています。

例えば、皆さんの大切な人が病気で苦しんでいる時に、病気がよくなるように「おもう」ことを「念う」といいます。

私たちが仏さまに向かう時に、この「念う」心が大切になり、この「念う」心を使うからこそ、仏さまと通い合うことができるのです。

# ちがいさがし

みんなよう  
考えよう

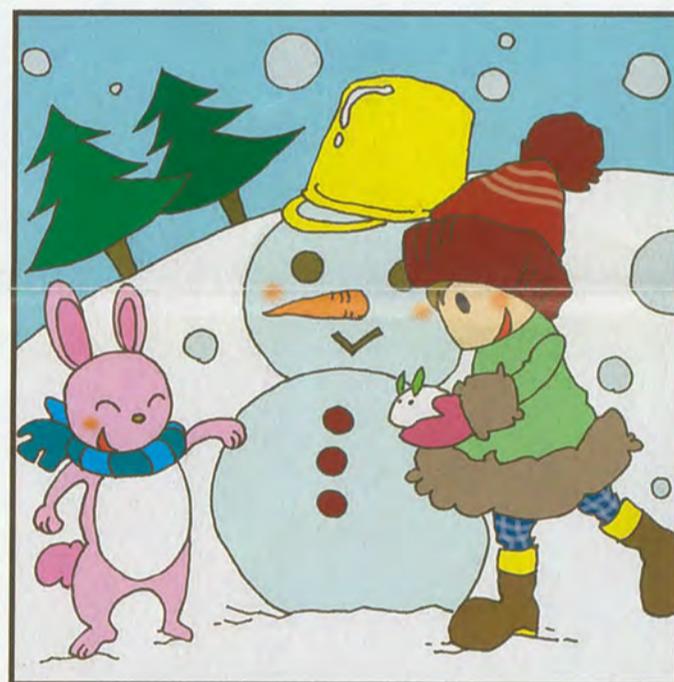
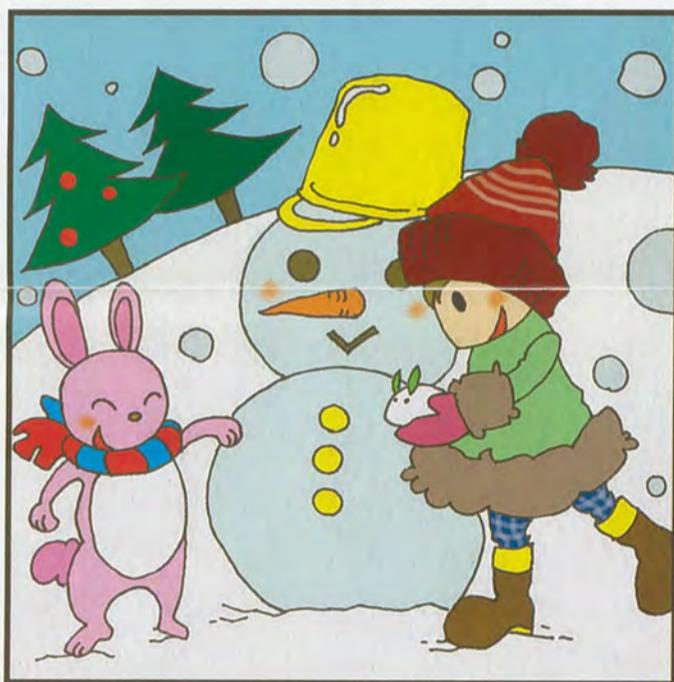
## お知らせ

◇みなさんからの記事を待っています。学校でのこと、家の中でのこと、家族のこと、友だちのことなどを書いて送ってください。またみなさんからの作品も待っています。絵や作文、お習字など何でもけっこうです。

◇送り先は 〒857-0851 佐世保市稲荷町19番10号 善隣寺内 浄土宗児童教化連盟事務局

TEL 0956-333-3334 FAX 0956-333-3338

感想もいっしょに書いてくださいね。



前回の答え

今回のちがいさがしは「冬がテーマ」。

右の絵と左の絵の違いを5つ見つけてください。

ハガキに答えを書いて左記まで送ってください。正解者の中から抽選で30名に記念品をお送りします。記事の感想や意見もいっしょに書いてくださいね。

しめきりは2月15日です。

送り先

〒857-0851

佐世保市稲荷町19番10号

善隣寺内

浄土宗児童教化連盟事務局

TEL 0956-333-3334

FAX 0956-333-3338

## ぶくぶく編集室



のらネコの集会を見たことがありませんか。おにも夕方から夜にかけて行われるそうです。ネコはもともと群れをきらい単独行動する動物ですが、ネコが暮らす環境が大きく変わってきて、人間にエサをもらうなどしないと生きていけなくなりました。

結局せまい地域で多くのネコが集まってくるようになり、けんかばかりしていると体がもちません。それで、のらネコたちにも社会が生まれ、町内会をするようになったのではないかと考えられるそうです。

ネコ同士が集まって、何かを話し合うわけではありませんが、近所にどんなやつがいるのだからと、顔を合わせているものと思われれます。「新しい家族が増えたな」とか、「おじいさんネコはまだまだ元気だな」とか、おたがいに確認していると思うと楽しいですね。